

株式会社 大一電化社

〈事業計画名〉輸入珈琲豆の自家焙煎化による顧客ニーズ対応プロセスの変革



エスプレッソマシンの販売から自家焙煎まで 社内一貫体制の構築による自社ブランドの確立

事業の背景

コーヒーへのこだわりの深化によるニーズの多様化

コーヒー業界では、深煎りのエスプレッソ系コーヒーの人気の高まりや浅煎りのスペシャルティコーヒーのブームなどにより、ニーズの多様化が顕著になっていた。

さらに、当社においては輸入販売していた海外（イタリア）メーカーの品質が安定しない問題も発生していたため、海外メーカーから脱却し、自社焙煎による取り扱い焙煎豆の品揃え強化が必須となっていた。

品質面・供給面の強化、品揃えの多様化、輸送費圧縮によるコスト改善などにより、高付加価値と収益性の向上を図るとともに新たな顧客層の獲得を目指した。



事業の成果

自家焙煎による新規顧客層開拓と顧客満足度向上

最新の焙煎機導入に伴い職人も雇用することで、イタリア製と同等以上の焙煎豆の生産体制を実現。

また、自社焙煎により多様化する消費者嗜好に対応した「豆のブレンド」や「煎り方」が可能となり、カフェなどのユーザーへの訴求力や付加価値の向上へとつながった。

自社焙煎によるブランドが確立されたことにより、今まで取引がなかった大企業とも取引できる環境が構築され、さらに「やまのべ焙煎所」という奈良県天理市の新しい特産品の開発に着手することが可能となった。



株式会社大一電化社の概要

「日本に本物のエスプレッソ文化を広める」日本のカフェ文化を支え、明日の文化を作る

当社は、昭和34年家電販売店として創業。平成14年海外エスプレッソマシンメーカーの国内サービス拠点として指定されたのを機に、エスプレッソマシンの輸入販売を専業としている。

現在はエスプレッソマシンを中心に、グラインダーやドリップコーヒー器具など、一連のコーヒー関連機器から厨房機器まで多数の海外ブランドのカフェ用機器・器具の輸入を手がけている。

また、自社焙煎のコーヒー豆も扱い、主としてカフェやコーヒーを重要視するレストラン、また一部一般家庭向けに販売をしている。



株式会社大一電化社のこだわり

それぞれの味づくりを支配した上でのプロとしての提案



当社は「Daiichi品質」という高い基準のもと、エスプレッソマシンとグラインダーのほぼすべてを【直輸入】→【自社入出荷点検】→【直販売】→【完全自社修理】することで全てに当社の目が届くシステムを構築。EU基準以上の安全性と耐久性を実現している。

また、人材面においてはバリスタ経験者かつ大会入賞者というレベルの高いプレイヤーが営業を担当。起業される方や未経験の方向けのセミナーを開催し、不安を払拭するとともに、機器とコーヒー豆の納入の際には顧客との味づくりまで行うなど、自分たちを選んで頂ける理由づくりを常に意識している。

株式会社大一電化社の想い

私たちが地域を売り込み、地域資源となるための「やまのべ」ブランドの確立

当社は、奈良県天理市のほぼ中央「やまのべの郷」と呼ばれる場所に位置している。ヤマト王権の起りこと言われている「やまのべ」。

私たちは「生まれ育った故郷を知ってもらいたい」という想いのもと、自社ブランドの「やまのべ焙煎所」を展開。天理大学との業務提携、キッチンカーの開発など、奈良県天理市の「やまのべ」を知ってもらうためのきっかけづくりをすすめている。



株式会社 大一電化社

業種分類 機械器具小売業

事業内容 エスプレッソマシン・グラインダー輸入販売 コーヒー豆自家焙煎・販売

代表者名 代表取締役社長 上田 隆

所在地 奈良県天理市田部町 287

連絡先 TEL:0743-63-7871/FAX:0743-63-1116

ホームページ <https://www.daiichi-mottainai.com/>

E-MAIL info@daiichico.com